

日本で初めて大学内にファブラボを開設した本学が、デジタルファブリケーションによる自由なものづくりの可能性を体験できる展示会を初開催！

「ファブラボみなとみらい展 2023 さあ、創造性を解放しよう！」

日時：2023年9月15日（金）～30日（土） ※17日（日）、18日（月・祝）、24日（日）は閉館
場所：神奈川大学みなとみらいキャンパス1階 ソーシャルコモンズ
参加費：無料 ※一般の方の来場も可能です。

創立95周年を迎えた学校法人神奈川大学（本部：神奈川県横浜市／理事長：石渡 卓）は、みなとみらいキャンパス1階ソーシャルコモンズ内で運営するデジタル工房「ファブラボみなとみらい」において、デジタルファブリケーションによる自由なものづくりの可能性を体験できる展示会「ファブラボみなとみらい展 2023 さあ、創造性を解放しよう！」を、2023年9月15日（金）～30日（土）の間〔ただし、17日（日）、18日（月・祝）、24日（日）は閉館〕で初開催します。参加費は無料で、どなたでも参加できます。



ファブラボみなとみらいで制作された作品



コロナ対策用のアクリルパネルで制作された作品

【展示会 概要】

ファブラボの重要要素「LEARN（学ぶ）」「MAKE（作る）」「SHARE（分かち合う）」の3つのエリアで展示を実施。作品展示だけでなく、実際に触れて学べるエリア、ガチャボックスを回してオリジナルグッズを手に入れることができるスタンプラリーなど、お子様から大人まで、きっと自分でも何かを作ってみたくなる展示・企画が盛りだくさんです。なお、詳細は次ページをご覧ください。

期間：2023年9月15日（金）～9月30日（土）

※キャンパス開館時間内で開催

※9月17日（日）、18日（月・祝）、24日（日）はキャンパス全体が閉館

場所：神奈川大学みなとみらいキャンパス1F ソーシャルコモンズ

入場料：無料

本件に関するお問い合わせ先

社会連携部 社会連携課 是友めぐみ TEL: 045-664-3710(代) E-mail: shakai-renkei@kanagawa-u.ac.jp

企画政策部 広報課 中嶋健一 TEL: 045-481-5661(代) E-mail: kohou-info@kanagawa-u.ac.jp

【展示会 詳細】

■展示エリア【LEARN】 「ファブラボについてまなぼう！」

ファブラボって何？の疑問にお答えするパネル展示を行います。デジタルファブリケーション技術や「ファブラボ」という施設のこと、ファブラボで何ができるか？を紹介します。

■展示エリア【MAKE】 「あなたもできる！あたらしいものづくり」

触って学べる作品展示を行います。ファブラボみなどみらいのスタッフが制作した様々なアイテムを展示します。

■展示エリア【SHARE】 「ものづくり知識をわかちあおう！」

ファブラボみなどみらいユーザの作品を展示します。作品にはそれぞれ「シェアボード」が一緒に展示されており、作品制作にまつわる技術や、エピソードを知ることができます。

【企画・イベント 詳細】

■トークイベント

9月16日（土）14:00～16:00 は、「地域工房ファブラボでおこる日々のこと」と題し、デジタルものづくりを実践する方に語っていただくトークイベントを会場内「ナレッジコア」で開催します。デジタルものづくり、ファブラボを様々な視点から捉えることができます。登壇者は本学学生、スタッフの他、社会人、小学生などを予定しています。参加料無料、申込不要です。

■スタンプラリー

みなどみらいキャンパス1階ソーシャルコモンズを巡るスタンプラリー。ソーシャルコモンズとは、あらゆる人と知の交流を通じて、オープンイノベーションのきっかけを作ることを目的とし、様々な機能を有するその一角にファブラボみなどみらいはあります。今回の展示イベントをきっかけにお越しいただいた方に他機能との接点を創出すべく企画いたしました。ラボで台紙を受け取り、すべてのスタンプを集めると、ガチャボックスを回すことができます。同キャンパスで活用していたアクリルパーテーションを再利用してファブラボみなどみらいで制作したキーホルダーや、本イベントのメインビジュアルを使用して制作したオリジナルグッズを手に入れることができます。



写真提供：Circular Yokohama（ハーチ株式会社）

スタンプラリーで手に入れることができるグッズとガチャ筐体イメージ



建築学部設計、当ラボで制作した什器を
展示什器として使用予定

《参考》【ファブラボみなどみらいについて】 <https://www.kanagawa-u.ac.jp/cooperation/project/fablab/>

日本の大学で初めて学内にファブラボとして開設した「ファブラボ平塚」が前身です。2021年4月のみなどみらいキャンパス開設を機にその機能を移転し、「ファブラボみなどみらい」として運営を開始しました。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開設当初は学内での利用に留めていましたが、2022年1月より一般への開放をスタート。学外利用者は300名を超え、属性は学生、教職員の他、小学生から社会人まで様々で、年間延べ約3,000回の利用があります。ペットボトルキャップを入れて遊べる「循環ガチャ」や、感染症対策で活用していたアクリルパーテーションを再利用した取り組み「Reアクリルデザインアワード」の開催など、サーキュラーエコノミーに資する取り組みや、鎌倉市と連携した文化財を用いて歴史民俗資料を体感するワークショップ「FABでよみがえる鎌倉の日常」の開催など、デジタルファブリケーションの可能性を広げる様々な取り組みを行っています。